

心つないで

No.61

発行

2014年3月16日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部(本部長・金丸正樹)

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

第10陣・伊田管理者(あんず)、吉野さん(支援部)、 土屋さん(医学部生)の大船渡報告

和気あいあいと講習

セラバンドと 脳トレも

◎ 9月、11月に続き、セーフティウォーキングの講習が始まりました。今回は、室内でできる、ロコトレ体操とセラバンド体操も実施します。

・11日は午前には太田仮設、午後は地ノ森仮設で講習を実施しました。それぞれ9名、14名も参加され、歩行機能測定とウォーキング指導の後、ロコトレ体操とセラバンド体操で全身を使った運動や脳トレも行いました【写真・左、下】



・12日は大立仮設と黒土田仮設へ。講習後、支援員さんも一緒にお茶会。「津波が家まで押し寄せた」「盛岡まで行かないと大きな手術ができない」など、それぞれの経験や悩みをお聞きしました。



3年目の3月11日

◎3/11。今日で3年が経過しました。14時46分に大船渡市の防災無線のスピーカーからサイレンが鳴り、犠牲となられた方に対し、哀悼の意を表しました。

●行動・余話●

・13日、気仙沼市を訪れ、道中、陸前高田市を通りました。大きな橋が建設途中でしたが、まだまだ更地のところも多く、改めて被害の甚大さを認識しました。【写真・右】



「実際に大船渡に行くことで、テレビなどのメディアが伝える加工された情報とは違う、生の情報を仮設に住む方々から得ることができ、心から感謝しています」(土屋)



仮設のあちこちに雪が【右】

